

カーナビなどのユビキタス情報機器向けに、 コンパクトで高機能な組込み型データベースを製品化

日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:古川 一夫、以下 日立)と日立ソフトウェアエンジニアリング(代表執行役 執行役社長 小川健夫、以下 日立ソフト)は、このたび、カーナビなどのユビキタス情報機器の組込みソフトウェア分野において、より高機能でかつ高い生産性を求める市場ニーズに対応した、組込み型データベース「Entier(エンティア)」を共同で開発し、本年12月から出荷開始します。また、これに先立ち、組込みソフトウェア開発者向けの評価版を7月20日から提供開始します。

「Entier」は、各種ユビキタス情報機器上のOSに対応するコンパクトかつ高機能なリレーショナルデータベース(以下、RDB)です。組込みソフトウェアの開発時に「Entier」をデータベースとして組込むことで、大幅な生産性の向上を支援します。今回はカーナビ向けに多様な地図検索機能を提供するほか、ユビキタス情報機器と連携する企業情報システムとの間のデータ連携機能なども提供し、拡張性の高いユビキタス情報システムの実現を支援します。

近年、カーナビや携帯電話、情報家電などのユビキタス情報機器は、多機能・高機能化が急速に進展し、これに伴い組込みソフトウェア市場も拡大の傾向にあります。一方で、早い製品開発サイクルに対応するための組込みソフトウェアの生産性向上が、重要な課題となっています。

両社はこのニーズに対応するため、組込みソフトウェアの開発において汎用的に利用可能なデータベースとして「Entier」を製品化します。「Entier」の適用により、ユビキタス情報機器向けの組込みソフトウェア開発者は、従来は機器別に開発していた複雑なデータ管理機能を、データベースに任せることが可能となり、組込みソフトウェアの大幅な生産性向上を支援します。更に、複数条件による高度な地図検索や絞り込み検索などの機能が利用でき、従来以上に高機能なカーナビゲーションシステムの開発を支援します。

なお、両社は今回の「Entier」製品化に先立ち、組込みソフトウェア開発者向けに「Entier 評価プログラム」を実施し、ユーザーシステムにおける評価環境の構築支援、「Entier」導入時のソフトウェア技術者向け教育、及び、機能・性能評価における技術支援、などのきめ細かな支援を行います。また、今後、本製品のユビキタス情報機器メーカーへのOEM提供を行うほか、日立グループ各社事業への活用を図り、組込みソフトウェア開発市場向けのワンストップソリューションの提供や、プロセッサ・ストレージへの「Entier」適用による付加価値の高いハードウェア提供などをすすめていきます。

「Entier」の主な特長

(1) データ管理機能を提供する組込み型データベースとして、ソフトウェア生産性を大幅に向上

年々高機能化するユビキタス機器では、地図や楽曲、写真や動画など、取り扱うコンテンツが多様化しています。従来はこれらコンテンツのデータ管理機能は、機器別のアプリケーションプログラムとして個別に開発されていましたが、「Entier」は各種コンテンツデータに対応するデータ管理機能を予め備えており、データベースとして組込んで利用することができます。これにより、データ管理機能部分の開発がSQL文を記述するだけで可能になり、この部分の開発期間を従来比で約1/10以下(*1)に短縮できるなど、組込みソフトウェアの生産性を大幅に向上します。

*1: 当社試算による

(2)コンパクトで、かつ高度な DB 機能を提供

「Entier」は最小で 300KB というコンパクトなサイズで、RDB の操作言語である SQL をサポートするほか、プログラム開発言語 Java で RDB にアクセスするための標準インタフェースである JDBC にも対応します。また、今回はカーナビ向けに各種の検索機能を備えており、例えば「目的地までのルート上で、道路の左側にある飲食店のみを検索」というような、従来の組込みアプリケーションでは開発に手間のかかった高度な検索機能も SQL で容易に開発可能となります。さらに、目的地名の候補となる文字の追加に応じて検索結果を絞り込んでいく検索機能も標準で装備し、高度な DB 機能を利用できます。

(3)企業情報システムとの連携により、拡張性の高い組込みユビキタス情報システムの実現を支援

「Entier」は、組込みシステム側のデータベースとして企業の基幹情報システムとデータ連携を行い、新たな情報サービスに対応する機能を備えています。

例えば、基幹情報システムで実績のあるスケラブルデータベース「HiRDB」との連携により、センターのサーバーと情報機器端末との間のデータ連携が可能になります。これにより、ネットワーク経由で最新の店舗情報、音楽情報などをオンデマンドで情報機器端末に反映するといった、新しいサービスの提供も可能となります。

価格及び出荷時期

製品ブランド名	販売元	サポート OS	価格	出荷時期
Entier (エンティア)	日立 日立ソフト	T-Kernel iTRON VxWorks Windows CE Linux	個別見積	2005 年 12 月 ~ (*2)

*2: 「Entier」は、日立及び日立ソフト双方から販売し、各 OS 対応版を 12 月から順次出荷します。

関連イベント情報・URL

7 月 20 日 ~ 21 日に東京国際フォーラムで開催の「HITACHI uVALUE コンベンション 2005」にて、「Entier」のデモを行います。

<http://hitachi-uvcon.com/>

他社商品名称に関する表示

・記載の会社名および製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

取扱い事業部・照会先

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ ソフトウェア事業部 企画本部 計画部 【担当:山下】
〒244-8555 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 5030 番地
電話: 045 - 862 - 8975 (ダイヤルイン)

日立ソフトウェアエンジニアリング 株式会社 総合企画本部 ソリューション企画部 【担当:板井】
〒140-0002 東京都品川区東品川4丁目12番7号
電話: 03 - 5780 - 2354 (ダイヤルイン)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
